



講師

『我が国の少子化・高齢化社会におけるがん医療』

公立学校共済組合 九州中央病院 病院長 前原 喜彦 先生

- ◆開催日 10月6日(金)
- ◆時間 18:00~19:00
- ◆場所 松山赤十字病院 多目的ホール
(Zoomウェビナー視聴可能)

- ◆対象者 院内 全職員
院外 医療従事者

◆申込方法

①Zoomウェビナー視聴の申込

下記URLまたは、二次元バーコードから事前登録を行ってください。
https://zoom.us/webinar/register/WN_G4F3GBRxQsinf_kP4JuM1Q
事前登録完了後、メールにて出席用URLを配信させていただきます。



②来場参加の申込

別紙にご記入の上、FAXをお願いします。

- ◆申込期限 9月29日(金)
- ◆主催 松山赤十字病院 がん診療推進室
089-926-9630 (平日9:00~17:00)

現在、わが国は少子化・高齢化によって、国民医療費が増大し、介護医療費が高騰し、家族や社会の負担が増加しています。

人間は加齢に伴い、臓器や組織の機能老化が進み、生きる力や免疫力が低下して、がんをはじめ様々な病気を発症し、健康状態(Healthy)から虚弱状態(Frailty)を経て身体的機能障害状態(Disability)となり、最後の時を迎えることとなります。よって医療側には、病気を治療するだけでなく、病気を予防する、病気の重症化を予防するという観点から、病気の成因解明と治療法、対処法、予防法の創出が求められていると思います。ここでは、我々のこれまでの取り組みについて紹介します。

